

## 会話データベース(コーパス)構築のための研究協力者募集

研究課題名：公開自閉スペクトラム症者会話コーパス構築の予備研究<sup>1)</sup>

対象者：日本語を母語とする20歳以上の、定型発達の方および自閉スペクトラム症(ASD)と診断<sup>2)</sup>された方。

研究目的、意義：この研究では、日常の会話場面で私たちがどのような言葉遣いや振る舞いをしているかを調べるために、会話の音声と映像を記録し、研究に適した形で整えた上で、会話のデータベース(コーパス)として公開します。こうしたコーパスは、「場面や話題によって言葉遣いなどがどう変わるか」「定型発達の方/ASDの方の会話にはどんな特徴があるか」等を調べるのに役立ちます。

内容：年齢、性別、居住地・出身地(都道府県/国レベル)、職業などについて伺い、下記a)~c)の調査にご協力いただきます。収録した会話は文字化した上で研究用の情報を付け、個人情報などの扱いに配慮した上で、コーパスとして国立国語研究所(担当者：小磯花絵)から公開します。出来上がったデータは、コーパスとして公開する前にご自身でも確認していただきます(ヒアリング)。

### a) オンライン会議システムでの会話

音声と映像(顔を含む)を収録しながら、研究代表者(鈴木あすみ)と1対1で会話していただきます。【1日目】

①研究についてのご説明、②機材テスト、③収録に慣れていただくための雑談をしていただきます(30~40分)。

1日目の内容はコーパスに含めません。【2日目】①P-Fスタディ：絵を見て、登場人物の台詞を考えていただきます(10~15分)。②インタビュー：コミュニケーションでどのようなことに困っているかを伺います(40~45分)。

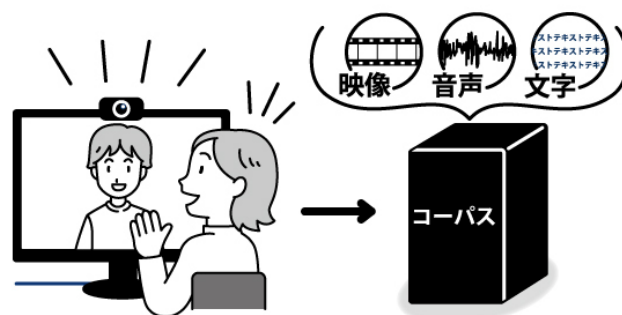
【3日目】自由会話を行います(60~70分)。

### b) 心理検査

郵送/オンラインで、自閉傾向などの社会的特性を計測する質問紙調査を行います(全部で約70分)。

### c) 生理指標の測定

会話中の心拍変動や眼球運動、唾液中オキシトシンといった生理指標を計測します(小型機器を貸し出します)。



謝礼：参加1回につき拘束時間は2時間程度で、国立障害者リハビリテーションセンターでの規定に基づいた謝金(3時間未満4,310円)をお支払い致します。ヒアリングも含め全4回分をお支払いする予定です。

【本研究に関するお問い合わせ先(研究代表者)】

国立障害者リハビリテーションセンター研究所 脳機能系障害研究部 高次脳機能障害研究室

鈴木 あすみ

〒359-8555 埼玉県所沢市並木4-1

TEL: 04-2995-3100 (内線2518) FAX: 04-2995-3132

Eメール: [kojino-asd-corpus@rehab.go.jp](mailto:kojino-asd-corpus@rehab.go.jp)

ご参加お待ちしております!

1) 本研究は、国立障害者リハビリテーションセンター倫理審査委員会の承認及び総長の許可、並びに国立国語研究所倫理審査委員会の承認を受けて実施しています。また、国立障害者リハビリテーションセンター研究所(鈴木あすみ、幕内充、和田真)と国立国語研究所(小磯花絵)、浜松医科大学(岩淵俊樹)の共同研究として実施します。2) ADOS-2および知能検査のデータが必要となるため、検査を受けたことが無い場合は受けていただきます。検査を受けたことがある方は、それらの値を本研究に再利用致します。